



水稻情報 ～中後期除草剤のご紹介～



田植えも終わり、みなさん一段落がついたところだと思いますが、初期剤・一発除草剤の効き目が切れ、雑草が顔を出してきた圃場もあるかもしれません……。今回は、そのような農家の皆様にオススメする「中後期除草剤」をご紹介します！

1年生雑草 (種で増える雑草)	ノビエ 	【方言名】 ヒエ・ヒユ <ul style="list-style-type: none"> イネ科雑草。草姿がイネに似ており、葉鞘と葉身の境目にある「葉耳」及び「葉舌」の有無で区別します。 カメムシ等は稲よりノビエが大好物なため、水田内での増殖源となる。 	多年生雑草 (塊茎で増える雑草)	オモダカ 	【方言名】 ヤジリ、ヤジルシ、クワイ <ul style="list-style-type: none"> オモダカ科の多年生雑草 矢じり葉が特徴で、上部に3個ずつ白い花をつけ、根の先に塊茎がついている
	ホタルイ 	【方言名】 イグサ、トウスミゾーレ <ul style="list-style-type: none"> カヤツリグサ科の問題雑草 草姿は多年生雑草のクログワイによく似ており、塊茎の有無（無し）と花の咲く位置（茎上部）で判断します 		クログワイ 	【方言名】 トウスミ、ゾーレ、クワイ <ul style="list-style-type: none"> カヤツリグサ科の多年生雑草 草姿がホタルイによく似ており、塊茎の有無（有り）と花の咲く位置（茎先端）で判断します 茎を握るとシャリシャリ音がします
	イボクサ 	<ul style="list-style-type: none"> ツユクサ科の一年生雑草 畦畔から水田内に侵入する、近年、問題となっている水田雑草 代かき等で切断された茎からも増殖するため、水田内で広がしやすい 			

オススメの中後期除草剤	上手な使い方とポイント
ノビエ・広葉雑草が残った圃場	
クリンチャーバスME液剤	<ol style="list-style-type: none"> 使用時期：移植後15日～ノビエ5葉期但し、収穫50日前まで 使用方法：落水散布 散布後3日間は入水しない。 使用薬量：1000 mℓ/10a 散布水量：100ℓ/10a (100倍液) 特徴：ノビエに効果がある「クリンチャー剤」と広葉雑草に効果を示す「バサグラン剤」との混合剤。
ワイドアタックSC (液剤) ワイドアタックD1kg (粒剤)	<ol style="list-style-type: none"> 使用時期：(SC) 移植後20日～ノビエ6葉期まで但し、収穫30日前まで。 (粒剤) 移植後15日～ノビエ5葉期まで但し、収穫60日前まで。 使用方法：(SC) 落水散布または、ごく浅く湛水して散布。散布後3日は入水しない。 (粒) 湛水散布 使用薬量：100mℓ/10a・1kg/10a 散布水量：100ℓ/10a (1000倍液) 特徴：しっかりと茎葉散布処理をする。
アトトリ豆粒250	<ol style="list-style-type: none"> 使用時期：移植後14日(稲5葉期以降)～ノビエ4葉期但し、収穫45日前まで 使用方法：湛水散布。 使用薬量：250g/10a 特徴：コウキヤガラ、オモダカなどの多年生雑草に対する効果高い。ノビエも対象にする場合は、葉齢に注意し散布する。
レプラス1kg粒剤 レプラスジャンボ	<ol style="list-style-type: none"> 使用時期：移植後14日後～ノビエ4葉期但し、収穫60日前まで 使用方法：(粒剤) 湛水散布 (ジャンボ剤) 水田に小包装(パック)のまま投げ入れる。 使用薬量：1kg/10a 小包装(パック) 10個(400g)/10a 特徴：オモダカ・ホタルイなどに効果あり
ノビエのみ残った圃場	
クリンチャー1kg粒剤	<ol style="list-style-type: none"> 使用時期：移植後25日～ノビエ5葉期但し、収穫30日前まで。 使用方法：湛水散布。散布後3日間は入水しない。 使用薬量：1.5kg/10a 特徴：ノビエのみ効果を発揮。
広葉雑草のみ残った圃場	
バサグラン粒剤・液剤	<ol style="list-style-type: none"> 使用時期：移植後15～55日但し、収穫60日前まで(液剤は収穫50日前まで) 使用方法：落水散布、又はごく浅く湛水して散布。散布後3日間は入水しない。 使用薬量：(粒剤) 3～4kg/10a (液剤) 水量70～100L・薬量500～700ml 特徴：対象草種は広葉雑草のみ。しっかりと茎葉散布処理をする。

中後期剤は落水散布・湛水散布といろいろな散布方法があるので、使用方法には気を付けて散布しましょう！